

## 令和2年7月臨時教育委員会会議録

1 期 日 令和2年7月16日（木）

2 場 所 市役所南別館4階研修室

3 開始時間 10時00分

4 終了時間 11時20分

5 出席者

児玉教育長、赤松教育長職務代理者、中原委員、濱田委員、岡村委員

その他の出席者

栗山教育部長、大田教育総務課長、深江学校教育課長、児玉指導主事、細山田指導主事

6 会議録署名委員

中原委員、濱田委員

7 開 会

◎教育長

では、ただいまから令和2年7月臨時教育委員会を開催いたします。どうぞよろしくお願いいたします。本日の委員会の終了時間は、午後零時を予定しております。皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、市民憲章朗読をよろしくお願いいたします。

8 会議録署名委員の指名

◎教育長

本日の会議録の署名委員は、都城市教育委員会会議に関する規則第15条の規定により、中原委員、濱田委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

教育長報告となっておりますが、今日は割愛させていただきたいと思います。

9 議 事

### 【議案第17号】

◎教育長

早速、議事に入りたいと思います。

本日の付議事件は、議案1件でございます。

本議案の審議につきましては、本委員会の採択結果が他の地区の採択に影響を与える恐れがあります。それをもちまして、県の解禁日が9月1日以降となっておりますことから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項、但し書の規定により、本件は8月31日まで非公開とすることよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎教育長

異議なしということでございますので、本件につきましては、8月31日まで非公開といたします。

それでは、議案第17号について、学校教育課長から説明をいただきます。深江課長よろしくお願いいたします。

●学校教育課長

それでは、説明をいたします。

本年度は、中学校の教科用図書について、新たな採択を行う年となっております。北諸県採択地区協議会における選定までの経緯についてご説明します。

まず、昨年度北諸県地区の中学校の各教科部会に本地区の生徒の実態上の課題等の集約を依頼しました。そして、全ての教科部会から回答をいただきました。

6月1日に、宮崎県教科用図書選定審議会から、教科用図書の採択について答申が示されました。その答申に基づき、都城市及び三股町教育委員会事務局において、昨年度、教科部会から集約した内容をもとに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮した教科書採択の観点を独自に設定いたしました。6月2日に、第1回教科用図書北諸県採択地区協議会が開催され、本市教育委員会からは、児玉教育長と赤松委員に採択地区協議会委員として出席いただき、三股町教育委員会の代表及び本地区の保護者代表を含め、6名の採択地区協議会委員により本採択地区協議会の計画、予算、専門委員、教科用図書研究の観点を審議及び承認していただき、北諸県採択地区協議会としての取組がスタートいたしました。第1回教科用図書北諸県採択地区協議会で承認いただいた47名の専門委員による教科用図書の研究会を、6月4日、24日、25日の3日間で開催し、文部科学省の教科書検定に合格し、見本本として採択地区協議会に送付された19者より67種の教科用図書について、県が示した3観点到、北諸県採択地区協議会で承認された1観点を加え、4つの観点から各教科用図書の調査研究を行いました。7月7日に、第2回教科用図書北諸県採択地区協議会を開催し、全教科の調査結果について、研究にあたった専門委員長の報告を受けました。その報告をもとに、6名の採択地区協議会委員による協議を行い、採決により北諸県採択地区協議会として、令和3年度から使用する中学校の教科書の選定を行いましたので、選定結果及び選定理由について、この後、ご報告いたします。

それでは、資料、令和3年度使用中学校用教科用図書選定理由書をご覧ください。ここからはその資料に沿って2年生の教科書を活用しながら説明いたします。

それではまず、4ページをお開きください。

まず、国語です。

現採択は東京書籍です。先日の北諸県採択地区協議会で審議がなされ、令和2年度選定においては、光村図書出版が選定されました。下の主な選定理由及び国語2と書いてある教科書の24ページをご覧ください。内容を正確に読み取る力を育成するために、単元ごとに見通しをもつことのできる学習の流れが示されており、そこにあります下段に、「学習の窓」というコーナーがありますが、ここで読みのポイントが図解で示してあり、これが巻末の260ページに一覧にまとめてあります。それぞれの単元にある「学習の窓」が、このように一覧に載っております。自分の学びを振り返り、そして、学習を進めることができるという工夫が見られます。また、23ページを見ますと、本文に加えて関連本の紹介があります。色使いや読みやすさにも工夫が見られます。29ページにありますように、QRコードの配置にも工夫が見られます。単元ごとにQRコードが示されております。

続いて、資料の5ページをご覧ください。

書写です。現採択は三省堂です。令和2年度選定においては、東京書籍が選定されました。教科書の28ページをご覧ください。主な選定理由としては、ここに文字文化への関心をもたせるために、各学年に文字文化コラムとして、「文字のいずみ」を位置づけ、文字の歴史を掲載し、40ページにありますように用具、用材の紹介をしております。さらに、80ページにありますように、手書き文字と活字、社会の中で使える手紙文字など、我が国に息づく文字文化を幅広く取り上げ、3年間を通して文字文化を継承、発展させる態度を養う工夫が見られます。24ページをご覧ください。特に、硬筆が整理されております。また、QRコードを読み取ると、説明付きの動画につながるなど、工夫が見られます。

続いて、資料の6ページ、社会の地理です。現採択は東京書籍です。令和2年度選定においても、同じく

東京書籍が選定されました。主な選定理由として、教科書の25ページや28から30ページにありますように、複数の資料や地図等から必要な情報を読み取る力を身に付けさせるために、資料を「集める」、「読みとる」、「スキルアップ」、「まとめる」のコーナーを設けるなどの工夫が見られます。71ページをご覧ください。本市の生徒の実態から、因果関係を説明し、記述する力を身に付けるために、資料から読み取った地域の特色について、資料の読解力の育成を促す「資料から発見！」を設ける等の工夫が見られます。さらに、270ページをご覧ください。こちらにありますように、身近な宮崎市の事例が豊富に紹介されております。

次に、歴史です。資料は7ページです。

歴史につきましては、現採択は東京書籍です。令和2年度選定においても、同じく東京書籍が選定されました。主な選定理由として、事象間の因果関係について考察する力を身に付けさせるために、84ページは中段、85ページは上から2つめの枠で囲まれているところになりますが、「見方・考え方」や「読み取る」で、情報を集め、読み取り、まとめる活動ができる工夫が見られます。また、52ページにありますように、各時代のおおまかな特色を理解する力を身に付けるため、資料の読み取りで、各時代の理解を深める特設ページ「資料から発見！」を設定する工夫が見られます。おおまかな特色をこれで掴ませる工夫がなされております。また、デジタルコンテンツも非常に多く充実しております。

続きまして、公民でございます。資料8ページで現採択は東京書籍です。令和2年度選定においても、同じく東京書籍が選定されました。主な選定理由については、社会的事象を身近なものと考えさせるために、写真資料が多く用いられ、実生活と関連付けやすく、31ページにある「みんなでチャレンジ」で、主体的に考え、自己との関わりを深められるような工夫が見られます。また、社会的事象の因果関係を説明させるために、15ページにありますように、「トライ」「考える」「読み取る」などを設けて、社会的事象の原因と結果の関係性を把握できるような工夫がなされています。

なお、地理、歴史、公民につきましては、それぞれ種目ごとに採択を行いました。同一発行者が選定されております。生徒にとっても、教師にとっても、教科書の構成や使用される言葉が同じである方が学習したり、指導したりしやすいという意見もございました。

続いて、地図です。資料は9ページです。現採択は帝国書院です。令和2年度選定においても、同じく帝国書院が選定されました。主な選定理由については、23ページ、24ページにありますように、地図帳の適切な活用方法を理解するために、地図帳の見開き1ページに間を示した「地図活用」設けて、多くの情報から読み取る視点を与えるなどの工夫が見られます。また、各資料から事象間の因果関係を読み取る力を身に付けさせるために、23ページから28ページにかけて、23、24ページには、地域のことを知るための基礎となる「一般図」、そして次の25、26ページには地域の景色や地形の様子が読み取れる鳥瞰図、さらに次の27、28ページには、それぞれの地域の特徴をつかめる「資料図」の流れで資料が構成されているなどの工夫が見られます。また、サイズが大きいので、広範囲の地図を見ることができます。内容について詳細な説明なども書かれております。

続きまして数学です。資料は10ページです。現採択は新興出版社啓林館です。令和2年度選定においても同じく新興出版社啓林館が選定されました。主な選定理由としては、文章を適切に読み取らせるために、教科書の4ページにありますように、利用の節や項などで、身の回りの場面から課題を発見し、解決するまでの流れを4段階に分けています。特に、「ステップ2」では、見通しを立てて課題を解決しようという段階を設定し、丁寧に分かりやすく説明する工夫が見られます。また、図・表・グラフなど、数学的に表現できるようにするために、112、113ページにありますように、「説明しよう」、「話しあおう」、「まとめよう」では、自分の考えを整理して、それをまとめて伝えたり、他者と自分の考えを比較して考えたりする場面を設けるなどの工夫が見られます。さらに、指導者にとって活用しやすいように、QRコードが配置されており、数も豊富となっております。

続いて理科です。資料は11ページです。現採択が新興出版社啓林館です。令和2年度選定においても新興出版社啓林館が選定されました。選定理由としては、科学的に探究する力を身に付けさせるために、36ページにありますように、探究の流れが見やすく整理された「探Q実験・実習」を掲載し、「探Qシート」が巻末にまとめてございます。こちらに自分の考えを自由に書き込むことができるように、「探Qシート」が設定されております。また、66ページをご覧ください。「みんなで探Qクラブ」では、身に付けた探究の力を活用できる題材を設け、生徒が主体的に探究できる工夫が見られます。また、日常と結びつく内容が豊富であり、デジタルコンテンツの数が多く、使いやすいように配置されております。

続きまして、音楽の一般になります。資料は12ページです。現採択は教育出版です。令和2年度選定においても、同じく教育出版が選定されました。選定理由としては、曲想にふさわしい表現をさせるために、6ページにありますように音楽全体の構成を理解して学習できるよう、「主要教材」から「比べてみよう」や「深めてみよう」へと展開し、協働的に学ぶことができる工夫が見られます。鑑賞して知覚したり、感じたことを自分なりに表現したりするために、35ページにありますように、見方や考え方、感じとった曲想等をまとめて交流する「話し合おう」が設定されております。さらに、30ページのように、比較鑑賞する教材を示すことで、音楽の共通性や固有性を考えながら、実感を伴う理解をもとにした表現ができるような工夫がなされています。なおQRコードの数が豊富で、音声や動画などの内容も充実しております。

続いて音楽の器楽です。資料は13ページです。現採択は教育出版です。令和2年度選定においても、同じく教育出版が選定されています。主な選定理由として、基礎的な演奏の技能を身に付け表現させるために、10ページのように、学びのねらいを明確にしております。音色と奏法との関わりを理解しながら、奏法を身に付けさせるための教材が提示されています。また、学びのポイントを踏まえた上で、11ページのように、「まとめの曲」へと学習することで、創意工夫を生かした表現ができるような工夫が見られます。特に、和楽器を扱う教材では、49ページのように口唱歌を扱い、特徴を理解した上で、基礎的な奏法を身に付け表現できるよう工夫が見られます。

続きまして、美術です。資料は14ページです。現採択は日本文教出版です。令和2年度選定においては、光村図書出版が選定されました。主な選定理由として、表現することや創造することの楽しさを感じさせるために、21ページにありますように、作品の発想・構想の手立てを写真とともに詳しく記し、様々な表現技法や制作過程を具体的に紹介するなどして、自分の表現に生かしたいと思えるような工夫が見られます。また、22ページのように、題材の初めに、表現につながる鑑賞作品を掲載し、23ページにわたって鑑賞と表現を一体的に学べるような構成になっております。主体的な学びを通して、意欲を喚起させる工夫も見られます。58ページをお開きください。こちらには生徒作品が完成するまでの過程が紹介されており、生徒は身近に感じることができ、さらに、QRコードを読み取ると制作過程や道具に関するコンテンツがあり、充実しております。

続きまして、保健体育です。資料は15ページです。現採択は学研教育みらいです。令和2年度選定においては、東京書籍が選定されました。主な選定理由としましては、日常生活をよりよくするための基本的な知識を確実に習得するために、1ページにありますように、独自のコンテンツの動画など、意欲を高めて学習することができたり、18ページのように、各章末の「学習のまとめ」で、「確認の問題」を設定し、知識の習得状況を確認できたりするような工夫が見られます。また、そのページの下にありますように、習得した知識・技能を「学習のまとめ」の「日常生活に生かそう」で、より深く考えたり、自分の生活に当てはめたり、さらに調べたりすることができるような工夫が見られます。独自の動画につながるQRコードが効果的に配置されており、46ページの終章資料に、今後さらに注意すべきインターネットによるコミュニケーションやトラブルも掲載されております。

続きまして、技術です。資料は16ページです。現採択は東京書籍です。令和2年度選定においても、同

じく東京書籍が選定されました。主な選定理由として、38 ページのように技術分野に関わる問題や課題を見出させるために、「問題の発見、課題の設定」に関する学習内容を設け、問題発見のトレーニングや、103 ページにありますように「フィッシュボーン」、さらに171 ページのように、「5W1H」などの思考ツールを紹介して、生徒が自ら課題設定できるような工夫が見られます。また、問題や課題を解決するために、QR コードや39 ページにあるように、「問題解決カード」が設けられており、技術によって問題を解決する方法を分かりやすく示し、生徒が自ら解決できるような工夫が見られます。

次に、家庭です。資料は17 ページです。現採択は東京書籍です。令和2年度選定においても、同じく東京書籍が選定されました。主な選定理由としましては、より良い生活をめざし、家庭、地域での実践を促すために、144、146 ページにありますように、豊富な資料や実践例を掲載することで、地域や学校で実態に応じて、選択し実践できるように工夫がなされています。また、巻末資料には、「防災・減災手帳」が設けられています。その記入欄に、自分や家族で考えたことを記入できるなど、家庭や地域で活用しやすいような工夫が見られます。

次に英語です。資料は18 ページです。現採択は開隆堂出版です。令和2年度選定においては、東京書籍が選定されました。主な選定理由としては、4技能を統合的に活用しながらコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度及び能力を身に付けさせるために、48 ページにありますように、「Stage Activity」において、Unit で学習した技能を使ってテーマ別の自己表現活動を行い、4技能の能力を統合的に伸ばすための工夫がなされています。また、62、63 ページにありますように、「Read&Think」では、63 ページの「3段階読み」で、概要から詳細の順に捉えていく文章の読み方を身に付け、自分の考えを深めた上で、それを表現する力を育成できるように工夫がされています。さらに、QR コードが豊富であり、単語数の増加にも対応できるように、62 ページにある QR コードを読み取ると単語の発音を聞くことができる工夫がなされています。

最後は道徳です。資料の19 ページをご覧ください。現採択は光村図書出版です。令和2年度選定においても、光村図書出版が選定されました。主な選定理由としては、自主的に考え判断させるために、25 ページ「見方を変えて」や、その下にありますように、「つなげよう」で、様々な視点から価値に迫り、そのページの一番上にありますように、「考えよう」では、各教材を通して考えるべき問いから、もう一度、めあてに戻って自らの考えを整理することができるような工夫が見られます。

また、自己の向上を図ることのよさを自分ごととして捉えさせるために、巻末にあります「学びの記録」で、シーズンごとに学習を始める前の自分の心情から、一時間ごとの学びを通して、シーズンが終わった後にも心の変容を実感できるような工夫が見られます。さらに、デジタルコンテンツが使いやすいように配置してあります。

なお、北諸県採択地区協議会の規約・細則には、先ほど説明しました採択地区協議会の選定結果につきまして、採択地区内の市町教育委員会で合意が得られない場合には、会長が北諸県採択地区協議会を再招集し、再協議することと定められております。その際、北諸県採択地区協議会の選定結果について合意が得られなかった市町教育委員会は、その理由を明確にするとともに、独自の調査研究を実施した上で、再協議の場で報告することとなっております。また、北諸県採択地区協議会における再協議の結果について、市町教育委員会は従うこととなっております。

以上で、北諸県採択地区協議会における教科用図書選定までの経緯についての説明を終わります。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

◎教育長

大変膨大なご説明ありがとうございました。

まずは、今、手にとられた委員の方がいらっしゃいますので、少し手にとってご覧になっていただく時間

をとりたいと思います。よろしいでしょうか。

5分程度でよろしいでしょうか。その間に質問やご意見等をまとめていただくとありがたいと思います。

◎教育長

それでは私から。私自身は都城市の代表としてこの採択地区協議会に参加して、内容は分かっているのですが、今回、5種目の教科書が現行のものとは変わっているところがございます。この5種目につきまして、こういうところが良かったとか優れていたというような協議会で出された意見について、お話をさせていただくとありがたいと思います。

まず、国語ですけれども、東京書籍から光村図書出版に変わっております。これについてはいかがでしょうか。

●学校教育課長

光村図書出版の特徴としては、QRコードが非常に適切な場所に掲載されているため、生徒が使いやすいという意見が出ました。

◎教育長

今後はPC一人一台の時代となります。この教科書を使っている途中で一人一台の時代になりますので、そういうところも大きなポイントになったと思います。協議会の中では、UDフォントを採用しているのが光村図書出版で、採用されていないのが東京書籍だったとの意見も出されたことを記憶しております。そういうところもあったのではないかと思います。

それでは、書写についてはいかがでしょうか。

●学校教育課長

こちら、例えば、UDフォントや、ユニバーサルデザインの中で非常に工夫されており、教科書を読む際に行を追うことが苦手な生徒もいますので、視覚的な支援が必要ではないかという意見もありました。

◎教育長

特別な支援が必要な生徒にとっても読みやすい、認知しやすいとのことでした。

それでは、美術はいかがでしょうか。

●学校教育課長

一番ポイントだったのが、この教科書は資料が見やすいことです。また、専門外の先生でも教えやすく授業や指導のイメージもしやすいことから、この教科書がよいという意見が出ました。

◎教育長

美術の専門、美術の免許を持っている先生方が数少なくなってきています。小規模校においては、美術の免許を持っているけれども、他の学校と兼務していただく。それから、美術の免許外の先生が美術を教えるという状況もありますので、そこのところを加味されたということです。

続きまして、保健体育はいかがでしょうか。

●学校教育課長

保健体育につきましては、独自のデジタルコンテンツがあり、この点が一つの大きなポイントになりました。動画がわかりやすい。そして、質、量とも豊富である。教科書の文章や写真だけでなく、動画等を活用することによって子どもたちの理解や、知識が深まるという意見がございました。

◎教育長

最後ですけれども、英語につきましては、いかがでしょうか。

●学校教育課長

今回、学習する単語の数が増加しました。これに対して、対応しているQRコードが設けられており、さらに何ができるようになるかがしっかり目標として明確になっているために、振り返りをするときに、目標

と照らし合わせて生徒自身がしっかりと振り返ることができるという点が挙げられました。

◎教育長

ありがとうございました。

では、これ以外について、何かご意見等ございましたらお願いします。

○岡村委員

ご説明ありがとうございました。

全体的なものなのですが、非常に厚くて重い、そして、直接記入したり、切り取って使ったりというものも一緒に含まれています。教科書を持ち帰るといことも検討しないといけないような時代になってきていますので、その点で、教科書採択地区協議会の中で話題になったことはなかったのでしょうか。

●学校教育課長

重さの問題はありました。例えば学校では、年度当初に教科の先生同士が話をして、毎日持ち帰る必要がない教科や、毎日しっかり持ち帰る教科を分けて、指導しているところです。

○岡村委員

ありがとうございます。

◎教育長

これだけの厚さになりますと、重たくなります。

他にございませんでしょうか。

○濱田委員

ご説明ありがとうございました。

美術について、とても素晴らしいと思いますが、画家がある程度限られているような気もするのです。

歴史的に有名な画家の絵は、3年間の中で出てくるという配置になっているのですか。

●学校教育課長

大変、申し訳ありません。著名な画家が、3年間で出てくるかどうかについて報告はございませんでした。先ほども言いましたように、専門外の先生も専門の先生も指導しやすいということが一つのポイントになったようです。

○濱田委員

そうですか、ありがとうございます。写真というジャンルは掲載されていないのでしょうか。

●学校教育課長

少しお時間をください。

◎教育長

2、3年生の教科書の「学習を支える資料」というところに、映像メディアの活用が出てきます。78ページから81ページぐらいが該当します。今、展覧会とか、美術館においては、写真は欠かせない状況ですので、この単元で生徒は学習できるようになっております。

○濱田委員

ありがとうございました。

数学を見せていただきましたけれども、最初に勉強の仕方というか、利用の仕方が丁寧に書かれていて、自習もできるようになっています。非常に親切な教科書だと思いました。これは、授業の中で先生がこのように活用するといいいよという説明もされるのでしょうか。

●学校教育課長

今言われましたように、物事を論理的に考えることができるようになるために、この教科書を活用しながら指導し、生徒は学年が上がるにつれて、そういう考え方をしっかり身に付けられるような構成になってお

ります。

○濱田委員

それはとても大事なことです。

ありがとうございます。

○中原委員

ご説明ありがとうございました。

私から、一つは、家庭科のご説明にありました防災・減災についてのところです。最初、教科書を開いた時に目についたのは、スマホの絵です。情報入手ということで説明があるのですが、これは生徒一人一人にスマホを持ちなさいというように勘違いされるのではないかとも思いましたので、取扱いには注意が必要ではないかと思いました。スマホを持たせている御家庭、中学校の間は持たせないという御家庭もあると考えると、このように教科書に出てきたから買ってほしいということになるのではないかなと思いましたので、この点は、ご指導をお願いします。

●学校教育課長

ありがとうございます。そこはしっかり指導します。

○中原委員

続いて英語になりますが、英語検定や、TOE I Cなどの対策にも対応している教科書なのかなという点を質問したいと思います。選定の中でそのような話題があったかどうかお伺いします。

◎教育長

たまたま今日の新聞でも、中3で3級を取得している者が40%ぐらいでした。それから、普通科高校で準2級を取得している者は50%を超えていたというのが出ていましたね。そのことについては専門である兒玉指導主事をお願いします。

○兒玉指導主事

英語検定は、そもそも学校の教育課程とは異なる検定で、生徒が自から受けるということになりますので、今回の教科書を選ぶ際には、検討・研究はされておられません。しかしながら、英語検定も実際に学校で学ぶ授業も、同じ言語を学びますのでリンクしているものが多分にあります。例えば、英語検定で言いますと、最初に語彙の問題とか、文法の問題がございます。その語彙数が今回増えているのですけれども、それをきちんと子どもたちが定着させていくための手立てということで、今回選定された教科書にはQRコードも配置されております。そして、そのQRコードを読み取り、音声聞くことによって、聞く力、いわゆるリスニング力の向上にもつながります。英語検定の中でも、それ以外の検定等でも、聞く問題はたくさんありますので、そういった部分には対応できると思います。

◎教育長

ちなみに英語検定では、聞くテストは何級からでしょうか。また、3級から英語による面接があり、英会話も実施されると記憶しておりますが。

○兒玉指導主事

聞くテストは5級から実施されますが、面接の中で話すテスト、スピーキングテストが入ってくるのが3級の二次試験からになります。

◎教育長

ありがとうございます。やはり、まずは耳が慣れることが大事ということですね。今後、一人一台のコンピュータが入ってくれば、いつでも音声を聞くことができるという、そういう利点があると思います。

ありがとうございます。



○中原委員

最後に、この選定をする中で、先生方の目線が多分にあって、教える側なので、特に大切なファクターだと思うのですけれども、非常に丁寧すぎるかなという感想をもちました。あまりにも色々なものが整いすぎて、生徒たちの想像力というものが、昔風に言うと、上げ膳据え膳すぎないかなというのも思いました。幸いに、学校支援訪問などで授業の様子を参観しますと、教科書をそのままなぞったような授業はあまり拝見しないので、安心はしているのですけれども、これからの人材育成で考えると、そういう想像力であったり、考える力であったりというものがテーマになっていて、教科書はすごく丁寧すぎるのではないかなと思いました。ご説明の中では、ほぼ、どの教科につきましても、「深める」というフレーズが多かったので、そここのところの資料ということで、この教科書があると理解したところです。

以上です。

◎教育長

ありがたいコメントをいただきました。

他にございませんでしょうか。

この教科書から何を学ぶのか、どのように学ぶのか、そして、その後に、何ができるようになったのかというところまで追究することが、今回の学習指導要領で強調されておりますので、教科書会社もその実現に向けて丁寧に作成されているという印象は私ももっております。今後は、中原委員がおっしゃいましたように、子どもたちが自ら考え、探究していくような、全てがさらけ出されていないような教科書も、必要になってくるかもしれないと思っております。新学習指導要領の改訂に当たっての初年度ということですので、かなり丁寧に作り込んだと思います。

他にございませんでしょうか。

それでは、令和3年度から使用します中学校用の教科用図書の採択決定を行いたいと思います。

教科用図書の北諸県採択地区協議会では、深江課長から今、報告があったとおりでございます。報告のとおり、令和3年度使用中学校用教科用図書の採択を承認したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

◎教育長

満場一致で承認をしていただきました。

ありがとうございます。

では、原案のとおり承認されましたので、事務局には今後の対応をよろしくお願ひしたいと思います。

なお、本件につきましては、深江課長から事務連絡がありますので、お願ひいたします。

●学校教育課長

採択いただきありがとうございます。

本件につきましては、9月1日の情報開示まで秘密事項となります。特に、採択結果につきましては、くれぐれも取扱いにご留意いただきますよう、重ねてお願ひ申し上げます。

以上です。

◎教育長

ありがとうございます。

その後は、逆に開示になりますので、今回活躍していただいた研究をされた先生方の名前なども求めがあれば開示します。

## 11 その他

### ◎教育長

それでは、その他としましては、今日は何もないということです。私から、8月の定例教育委員会につきまして、8月5日、水曜日、午後1時半から、会場は南別館3階の委員会室になっておりますので、ご承知おきください。

それでは、令和2年7月臨時教育委員会をこれで閉じたいと思います。

ありがとうございました。